

「国民連合政府に期待」が37%

TBS系のJNNが5日に発表した世論調査で、日本共産党の志位和夫委員長が提案した「戦争法(安保法制)廃止の国民連合政府」が質問項目に盛り込まれました。

JNN世論調査

質問内容は「共産党は安全保障関連法を廃止するため、連立政権

を作ること前提に民主党などへ選挙協力を呼びかけています。こうした野党による選挙協力の実現に期待しませんが、期待しませんか」というもの。これに対し「期待する」と答えた人が37%にのぼり、「期待しない」と答えた人は57%です。

世論調査結果について志位和夫委員長は自身のツイッターで「37%の方に『期待する』と言っていただいていることは心強い。さらに努力して、国民多数の方々に期待を広がらせていきたいと思います」と語っています。



津軽三味線
コンサート
10/10(土) 桐ヶ丘西集所
1:30~1000円 (当日1200円)
<主催> ミニテイホーム さくら 090-3570-3769

道路・お風呂
86号線道路とはじめ、都内の道路、まぶくり考る
10/10(土) 全理連ビル 500円
1:30~ 代々木駅前

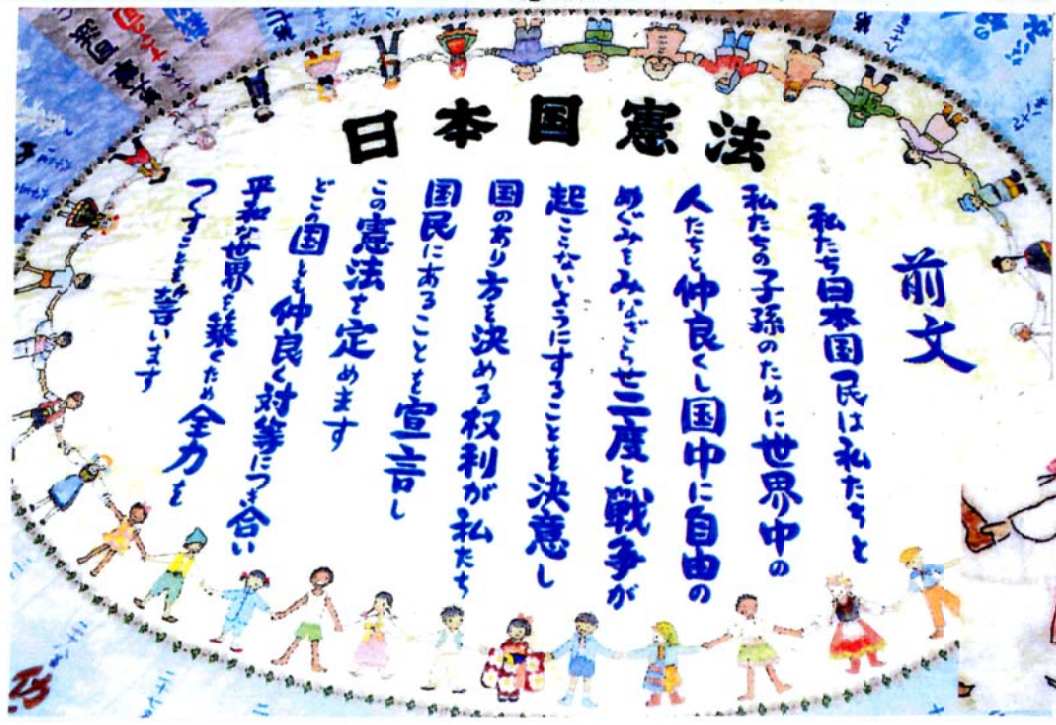
戦争法と廃止へ
10/10(土) 岸町ふれあい館
6:30~ 300円
内藤 功弁護士 <主催> 北区平和委員会

3選例区議会・決算審査が終わりました。

介護報酬の引き下げによる影響大 要支援1.2の方安心してける介護を

9月4日から10月2日まで、3選例区議会。時共産は、山崎たけ子区議の代表質問、委員会、決算審査を通じて、今年度からの介護保険制度の大改悪のしみを明らかにするとともに、北区に「安心してける介護とするより、全力を尽くせ」と求めました。

大改悪の犬もとは、自公アベ政権による、報酬引き下げ。介護事業者のやりくりも大変ですが、利用者の負担も増えています。そして、来月、要支援1.2の方の総合事業の移行。「サービス水準を継続するよう」に求めました。



止めましょう！
テロも戦争も

日本共産党北区議会議員
さがら としこ
区政レポート

日本共産党議員団
2015. 10. 17. No. 1349.
ご相談はお気軽に
TEL とも 3905-0970
FAX さがらとしこ事務所
赤羽北3-23-17
(バス停「赤羽北3丁目」、メガシティ近く)

10月に入って、すっかり涼になりました。

区民まつり、2日間とも秋晴れて、にぎやかでした。リニューアルした赤羽会館では、舞台発表も展示も。

大好評の憲法キルト。
「園サトルさんのキルトで、憲法を学び直してみたい」という声がよせられました。そこで、園さんが送ってくださった資料から、まず「前文」をご紹介します。~さがら~

挑戦 2016 参院選



たむら・ともこ 1965年、長野県小諸市生まれ。早稲田大卒。石井郁子参院議員、井上美代参院議員の秘書を経て2010年の参院選(比例)で初当選。現在二期目。党中央委員

戦争法廃止の政府必ず

日本共産党の田村智子参院議員・比例は、戦争法などの安倍暴走政治と対決し、国民との共同を広げ奮闘してきました。この間の国会内外での取り組みと、来年の参院選への決意を聞きました。

来年の参院選は、戦争法廃止・立憲主義を取り戻す国民連合政府の実現へ、政治を大きく動かすたたかいです。候補者としてやりがいと責任の大きさを感しています。

国民連合政府という方針は、国民の皆さんの運動が生み出したものだと思惑しています。戦争法案がいよいよ採決となる本会議直前、国会前に鳴り響くコールは、「野党はが

参院議員・比例

田村 智子さんに聞く

2015.10.7. *Tanaka Tomoko* 赤旗

「みなさんの運動が野党を結束させてくれました。国民連合政府を実現できるかどうかは、カギを握っているのはみなさん一人お一人。ともにかんばりましよう」といま、演

壇は、「共産党がんばれ!」「田村さんががんばれ!」など、政党名だけでなく議員一人ひとりの名前をあげてのものになりました。今も思い出すと胸が熱くなります。

カギ握るのは

労働組合のナショナルセンターの連いや、個人と団体の垣根も越えた、大規模な集会や国会請願などは通常国会の間に何度も行われました。私たち議員が、午後7時前から10時すぎまで国会前でデモ隊に手を振り続けた日もあり、そうした現場で野党議員は連帯を深めていったのです。

「みなさんの運動が野党を結束させてくれました。国民連合政府を実現できるかどうかは、カギを握っているのはみなさん一人お一人。ともにかんばりましよう」といま、演

貧困問題追及

この5年間、こたわってきたのが子どもの貧困対策です。保育料や給食費の未納問題、あるいは生活保護受給

者に対して「自己責任論」に立たせられた攻撃が少なくありませんが、私は「子どもに貧困の自己責任をさせることは絶対に許されない」という立場で質問を繰り返してきました。

保育の「新システム」への移行では、一部の自治体で、保育料未納の場合に保育所退所の措置が可能という説明が行われたことがわかり、厳しく追及し厚労省に是正を約束させました。

貧困対策の質問では、議員になる前に東京の若者たちと取り組んだ街頭相談活動の経験が生きています。仕事も住まいも失った人たちを目の前にして、日本のセーフティネットの貧弱さ、使い勝手の悪さにかくせんとしたこともありました。

国会では、さまざまな立場の方々が、戦争法案を廃案にと集会を行いました。その一つに、日本労働弁護団が取り組んだ「自衛隊員・家族・恋人のための緊急相談会」の報告集(9月12日)がありました。「母親からの相談が多かった。自衛隊員の多くは、中学や高校を卒業して入隊する。10代の若者をもつ母親の思いを想像してほしい」という報告に、戦争法によって運命を左右されるのは、私の子どもと同じ年頃の若者たちなのだと思惑させられました。

日本共産党が草の根の政党であること、それが私たち国会議員団の質問に大きな力を与えてくれます。現場の要求を政治に届けるためにも、大きな党をつくって選挙での躍進を勝ちとります。

戦争法の下では、自衛隊の海外派兵はこれまでと規模も危険性も異質のものとなります。まさに若者の命がかかっています。必ず廃止にと決意を新たにしています。

北区議会では、陳情に「共産、社民、新社会、民社」が「廃案にせよ」と採択を派

情の採択を主張。しかし、自民・公明、元氣などが本会議で否決されました。

者に対して「自己責任論」に立たせられた攻撃が少なくありませんが、私は「子どもに貧困の自己責任をさせることは絶対に許されない」という立場で質問を繰り返してきました。

「シニアズ」宣伝、これからは
 ◎学生たちの「シールズ」、子供世代の「アマの会」、そして「ミドルズ(中高生)」。

◎ 私たちの地域(お茶)では、戦争体験者が車に乗っての「シニアズ宣伝」。これからは、つづけてゆきましょう!!

北区議会では、陳情に「共産、社民、新社会、民社」が「廃案にせよ」と採択を派

◎ 9月24日の企画総務委員会。目玉が加わり、4会派が区民陳

情の採択を主張。しかし、自民・公明、元氣などが本会議で否決されました。

都議会では共産、民社、維新、安保法の廃止を求める

◎ 10月5日、3会派共同の懇話会。